

# 横浜研修センター 横浜クリニック 地域医療連携室レター

令和7年12月第37号



神奈川県歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック地域医療連携室(045-548-8807)

## 院長挨拶

日頃より当院に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当院は開院以来、医科部門の充実に努めてまいりました。現在では、眼科・耳鼻咽喉科・内科(一般内科・消化器内科・循環器内科・糖尿病代謝内科・認知症 高齢者総合内科)・麻酔科・放射線科(医科・歯科)を開設し、歯科部門と連携しながら、横浜駅エリアにおいて唯一の医科歯科連携医療機関として地域医療に貢献しております。

現在、横浜駅西口では魅力あるまちづくりを目指し、官民一体となった大規模な再開発が進められています。横浜クリニックが位置する鶴屋町エリアにおいても「鶴屋町まちづくり勉強会」が始動しました。まちづくりのコンセプトは「HUMAN ENERGY CORE」。人が集い、街の回遊拠点となる“ひとにやさしい空間”の創出を目指しており、そのキーワードは「ひと」です。

当クリニックは、「ひとにやさしい医療サービス」の提供を通じて、この新たなまちづくりの一翼を担ってまいりたいと考えております。今後も、患者様の健康と安全を第一に、スタッフ一同全力で取り組んでまいります。本院外レターでは、今後も当院の方針や取り組みについて定期的にご案内申し上げますので、ご一読いただければ幸いです。来年も変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。



院長 木本 克彦

### ◆今号の内容◆

1. 院長 年末のご挨拶  
研修会事業のご紹介
2. 各診療科 年末のご挨拶
3. 診療科のご紹介<眼科>
4. 各種セミナーの予定  
横浜クリニックからのお知らせ  
あとがき



## 研修会事業のご紹介

訪問歯科では、在宅医療に関わる知識や技術を共有・普及するために、さまざまな研修会事業を展開しています。その活動の目的に「在宅医療技術研究会」も立ち上げました。

これまで歯科訪問診療の知識や技術は、各人が経験をもとに試行錯誤しながら身につけるしかなく、時間もかかり技術水準の統一も難しい状況でした。求められる医療の質と緊急性を考え、より効率的に学べる場を整えることが課題でした。

摂食嚥下に関するニーズは拡大しています。横浜市を例にすれば、行政主導で「疾患別医療・介護連携」が進められ、「心疾患」「糖尿病」「緩和ケア」に加え、昨年度から「摂食嚥下障害」

も対象となりました。歯科が多職種連携の中で地域に貢献できる大きな機会です。

当研究会では、歯科医師向け嚥下内視鏡検査(VE)の実技演習(初級・中級・上級)をはじめ、歯科衛生士や他職種向けのVE補助者研修、摂食嚥下リハビリテーション・在宅医療・口腔ケアの基礎など、段階的プログラムを実施しています。

また、テーマや難易度を指定できる「オーダー研修」も行い、歯科クリニックのスタッフや関連企業が一体となって参加し、共通理解を深める機会として活用されています。

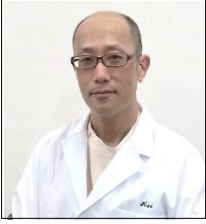
今後も多職種の皆さまにご参加いただける研修会を継続するとともに、訪問による嚥下評価(嚥下内視鏡検査)の依頼も常時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

訪問歯科 菅 武雄



## 各診療科年末のご挨拶

成人  
歯科  
診療科長 鎌田 要平



本年も多くの患者さんをご紹介頂きありがとうございました。これも一重に関係各所の皆様のご支援、ご尽力の賜物と存じ上げます。

来年 1 月から初診急患時間の変更がございます。ホームページなどでのお知らせをご確認ください。ご不便おかけしますが、現況何卒ご理解の程お願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご発展を祈り年末のご挨拶とさせていただきます。

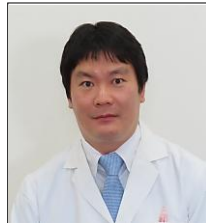
歯科  
口腔外科  
診療科長 西久保 周一



本年も皆様より多くの患者様をご紹介頂きありがとうございました。

横浜顎変形症センターでは、歯科のみならず医科からの紹介患者も増加しております。顎変形症が原因の閉塞性睡眠時無呼吸症の対する手術治療は、最も専門としている分野となります。口腔内の多くの口腔外科疾患にも対応しております。患者数の増加に伴い、患者様にはご迷惑をおかけしますが、良い医療をご提供できるよう医局員一同努力してまいります。

矯正  
歯科  
診療科長 高橋 正皓



本年度も多くのご紹介を頂きまして、厚く御礼申し上げます。

本年度 4 月より、診療科長を拝命致しました高橋正皓と申します。矯正歯科のスタッフと共に、安心・安全な最良の矯正歯科治療を提供できるように努めてまいります。お困り事等がございましたら、是非お気軽にお問い合わせください。

今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

イン  
プラント  
診療科長 曾根 崇晴



ご紹介各位に心より御礼申し上げます。

高齢・全身疾患を有する患者様にも配慮し、医科歯科連携のもと一口腔単位で最適治療を設計します。術前評価と感染対策を徹底し、安心の医療を届けてまいります。

引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

小児・  
障がい  
診療科長 高野 知子



今年も関係医療機関、近隣、同窓の先生方よりたくさんの患者様をご紹介いただきありがとうございました。今後も一次、二次、高次歯科医療機関との連携を深め、成長発育期にある子どもや障害のある方々に対し、安全で良好な歯科治療を提供できるよう、スタッフ一同、精一杯努力していく所存です。来年も変わらぬご支援賜りますようお願いするとともに、皆様のご健勝を祈り年末のご挨拶とさせていただきます。

麻酔  
科  
診療科長 有坂 博史



最新の医科麻酔科学の知識と技術を歯科医療にも提供することを目標に、安全を第一に取り組んでいます。ハイレベルな手術テクニックを備えた口腔外科教授、経験豊富なレベルの高いオペ室看護師とともに高い安全を確保し、近隣の医療機関、同窓の先生方より高い信頼を得られますように、努力をしていきたいと思っております。

訪問  
歯科  
診療科長 菅 武雄



訪問歯科は、今年度より独立した科となりました。訪問による摂食嚥下リハビリテーションを軸に、居宅はもちろん、急性期病院、介護施設、障害者施設に訪問しています。

在宅医療の知識技術の啓発目的で「在宅医療技術研究会」も立ち上げ、月に2回の研修会事業も展開しています。特に嚥下評価を目的とした内視鏡の実技演習は初級・中級・上級の段階的研修を提供しており好評です。

眼科  
診療科長 市邊 義章



患者さんの見づらいには、様々な「見づらさ」があります。その原因は、白内障、緑内障だけではなくありません。眼底の病気であったり、時には斜視が原因であったり、頭の病気であったりもします。当眼科ではその「見づらい」仕組みをしっかりと調べます。また、まぶしさや頭痛を伴う患者さんに対する診療も行っており、通常の眼科診療の他に、特殊専門外来をもっているのも当眼科の特徴です。これからも患者さんにより良い医療をご提供できるよう努力してまいります。

## 横浜クリニック 診療科のご紹介 <眼科>

当科では、白内障・緑内障をはじめ、網膜疾患や視神経疾患など眼の奥に関わる病気や、斜視などの専門的診療を行っております。

白内障手術は北里大学の飯田嘉彦教授が執刀し、斜視手術は国際医療福祉大学の後関利明教授が執刀を行っております。

斜視・弱視に対しては国家資格を有する視能訓練士と連携し、小児眼科領域にも力を注いでおります。

診療は常勤医師を中心に、各分野の専門医による外来を設けております。

白内障手術、斜視手術、レーザー治療などはそれぞれの専門医が担当し、患者様の生活スタイルやご希望に沿った治療方針を提案いたします。

また、神経眼科疾患や眼精疲労、羞明など多岐にわたる症状にも対応し、必要に応じてCT・MRIなどの画像診断を併用しております。

設備面では、眼科専用手術室、OCT・OCTAによる網膜三次元画像解析、角膜形状解析装置、視野検査機器などの検査機器を整備し、精密な診断を可能にしております。さらに、周辺の専門外来を持つ施設とも連携し、患者様に最適な医療を提供できる体制を整えております。

診療は予約制を導入し、待ち時間短縮に努めております。初診は常勤医師が担当し、その後必要に応じて専門医へ引き継ぎます。地域の先生方からご紹介いただいた患者様には、診療内容を速やかにご報告し、今後の治療方針についても丁寧にご相談申し上げます。地域医療の一翼を担うべく、近隣の先生方と連携しつつ、患者様に安心と信頼を届ける眼科診療を心がけております。



### ◇[眼科] 診療日時のご案内◇

	月	火	水	木	金	土
午前 ( 8:30~11:00 受付)	○	○	○	○	○	△
午後 (13:00~16:00 受付)	○	○	○	○	○	—

※学会等で臨時休診がございますので予めご了承ください。

※土曜日の外来は特別専門外来のみとなります。一般外来は行っておりません。

初診や予約外、お薬のみのご希望の場合にもご受診できませんのでご了承ください。

## 眼科からのご報告

### 《 第 15 回 神奈川歯科大学横浜眼科診々連携の会 》 2025 年 9 月 20 日 (土) 開催



例年通り、市邊医師による当眼科紹介ののち、今年は君島視能訓練士による「光過敏患者に対する眼鏡処方」を、斜視専門医の國見医師は「Sagging eye syndrome の診断ストラテジー」の講演を行いました。特別講演では、当院非常勤医師で北里大学診療教授飯田嘉彦医師による「満足度を考慮した白内障の治療戦略」を講演いただき、活発な質疑応答を行いました。また、閉会後は 4 階の眼科外来と手術室の見学会を行い、地域の先生や視能訓練士の皆様と交流をいたしました。2026 年は夏ごろの開催を予定しております。

## 今後のセミナーの予定（2026年1月～）

### ◆インプラント オープンサテライトセミナー◆

- 2026/1/22(木) 18:00～ 審美・咬合治療のデジタルワークフロー（特任教授 植松厚夫）  
2026/2/19(木) 18:00～ インプラント治療のデジタルワークフロー（特任准教授 丸尾勝一郎）  
2026/3/19(木) 18:00～ インプラント周囲のプラスチックサージェリーと  
インプラント周囲炎への対応（特任教授 児玉利朗）

### ◆歯科医師のための内科学（講師：栗橋健夫 診療科教授）◆

- 2026/1/29(木) 18:00～ 神経疾患と膠原病の最前線  
2026/2/26(木) 18:00～ 腎泌尿器疾患と周産期の対応  
2026/3/26(木) 18:00～ 精神疾患と睡眠時無呼吸症候群



### ◆在宅医療技術研究会今後の研修日程（講師：菅 武雄 訪問歯科）◆

会場：神奈川歯科大学附属横浜クリニック 横浜研修センター7階大会議室  
開始時間：いずれの日程も14:00からとなります  
申込方法：申込用紙にご記入の上、メールにてご送付下さい。研修申込手続き完了後、改めてご連絡させていただきます

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1月10日（土）嚙下内視鏡検査（初級） | 3月28日（土）嚙下内視鏡検査（初級） |
| 1月24日（土）嚙下内視鏡検査（中級） | 4月11日（土）嚙下内視鏡検査（中級） |
| 2月14日（土）嚙下内視鏡検査（上級） | 4月25日（土）嚙下内視鏡検査（上級） |
| 2月28日（土）嚙下内視鏡検査補助業務 | 5月9日（土）嚙下内視鏡検査補助業務  |



詳細はこちら➤

## Information ～横浜クリニックからのお知らせ～

### 【成人歯科より 受付時間変更について】

変更開始日 2026年1月5日（月）より

急患受付時間 **変更前**  
午前 9時00分～10時30分  
午後 13時00分～15時30分

**変更後**  
午前 9時00分～10時30分  
午後 **初診急患なし**

※皆様方には大変ご不便をお掛け致しますが何卒ご理解ご協力いただけますようお願い申し上げます。

### 【内科より インフルエンザワクチン接種実施について】

10月6日より内科にてインフルエンザワクチン接種を実施しています。横浜市でも11月12日に、インフルエンザ流行警報が発令されており、すでに昨年のピークを超えています。感染対策のポイントとして、こまめな手洗い、咳エチケットに加え、予防接種が有効とされています。

## 地域医療連携室から年末のごあいさつ

今年も残すところわずかとなってまいりました。本年も格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。この「院外レター」も37回目の発行となり、数年ぶりに送付先の更新も行いました。来年もより一層尽力してまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。感染症なども流行っている折、お身体に気を付けて、良いお年をお迎えください。



神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック  
地域医療連携室

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6

TEL :045-548-8807(地域医療連携室直通)

Mail: chiiki-irenkei@kdu.ac.jp

URL: <http://www.hama.kdu.ac.jp>

